

『学びのアトリエ』～数学指導の概要～

数学科担当 葛西 香太

[I] 見て分かる学習状況 < 学習記録表 >

「学びのアトリエ」では、『**学習の記録**』というものを導入しています。これは、塾生の皆さんの得意な、あるいは不得意な分野、およびその定着度・成績の推移を目で追えるようにし、模試や定期テストの対策をスムーズに行うことを目的に利用しています。各回ごと、その授業の進行のタイムテーブルに沿って作成しており、例えば具体的に以下のようなことを把握できるのが特徴です。

- ① 宿題の出題状況
- ② 使用テキスト(単元・ページ・問題番号)
- ③ 小テスト(単元・正答率)
- ④ やり直しが必要な事項(基本公式・テクニック etc...)
- ⑤ センター過去問**得点表**(年度刻みの得点推移)
- ⑥ 模試や定期テスト等の今後の予定(学校行事 etc...)
- ⑦ 講師から見たその日の**授業の様子**(体調・やる気 etc...)

以下は学習記録表の例の一部です。記録表の番号は上記の番号に対応しています。
(※講師からのコメント欄は今回は省かせてもらっています)

[学習記録表の一例]

<～授業・指導の流れ～>	
<p>② Focus Gold II+B (25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点と直線の距離 (要復習 ④) ・直線の垂直条件 (Good) <p>(注意: 平行・垂直条件を混同していた)</p>	<p>三角関数の最大・最小 (35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$t = \sin \theta$ の置き換え (Good) ・半角～倍角の公式 (Good) ・和積の公式の使い方 (要復習 ④)
<p>③ 小テスト「数列と漸化式」(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等差・等比数列の一般項 (Good) ・二項間漸化式 (要復習 ④) <p>< 正答率 72% ></p>	
→続く	
<p>① HW テキスト○○○の問152, 153, 154 HW テキスト△△△の例題 77, 79, 101</p>	<p>① HW <u>和積の公式暗記</u></p>
<p>※⑥月×日: ●●模試(マーク&記述)、◎月△日: 定期テスト(数 IIB 図形と方程式～ベクトル)</p>	

これらを積極的に活用することで、その生徒さんに適した指導方針・授業計画の形が見えてきます。こうして出来た指導計画をもとに、生徒さんとの小面談の機会を設け、適切な勉強方法を確立するための『**スタディサポート**』を行っています。数学学習において重要なウェイトを占めるのは何と言っても「**自宅での学習**」ですが、他の科目の勉強、宿題の分量、特別活動等により、**生徒さんごとに使える時間が異なる**でしょう。それについても相談と吟味を繰り返し、無理なく続けられて、

かつ効率的な学習スタイルを提案していくのがそこでの狙いです。

[II] 学ぶ姿勢を養う場所 < 自己啓発の促進 >

私の授業形態は、基本的に『生徒さんがやりたいこと』を優先しています。例えば、(i) 学校の進度に合わせて予習・復習を希望する人もいますし、(ii) 苦手な単元を基礎から叩き込んで欲しいという人もいます。片や、(iii) 模試やセンター試験対策に時間を割きたいという人もいたり、あるいは(iv) その全てを単元ごとに使い分ける人など、目的や環境に応じて十人十色です。

「個別指導」という性質上、テキストは一様ではなく、各単元ごと、定着度ごとに少しずつ変えていくつもりです。当塾では、古いものから新しいものまで、たくさんの参考書・問題集を用意しており、必要に応じて『テキストの導入・貸出』もしています。

授業前や授業後に、生徒さん自身がこちらにある参考書の中から自主的に探すということも大歓迎です。そうして見つけた参考書を使って、空き時間に『自習室』で勉強する、素晴らしいですね。当塾は、その名の通り「学びのアトリエ」です。必要なことを自分で探し、調べ、解決する。そして、分からないときのために我々講師がいます。本当の意味での「学ぶ力」をこの学びの空間で手に入れてみてはいかがでしょうか？

[III] プロフィールなど

- 生まれ： 青森県
- 所属： 北海道大学大学院理学院
- 趣味： ・ランニング ・数学の問題を作ること ・(たまに)料理 ・歌うこと
- 特技： ・スキー ・バスケットボール ・水泳
- 授業のモットー： 『親身で丁寧な授業』

～”私”の数学事情～

小～中学校のとき、父親や数学の文庫本の影響で算数・数学に感心を持つ。しかし高校初めの一年間、数学に対する慢心により、大きく躓いたのをきっかけに数学ばかり勉強するようになる。ちなみに愛読書は大学への数学。数学だけは学年でも一目置かれる存在に。そんな日々がたたくて受験期は古文・英語・日本史に苦しむ……。学部は埼玉大学理学部。教育実習での感動と教育の素晴らしさに影響され、一時期は高校教師の道を夢見るが、大学4年ときの卒業研究で、数学の奥深さと研究の楽しさに惹きつけられて、大学院へ進学。2年前、訪問研究員として約半年間海外へ滞在。語学力よりも、度胸と根性が身に付く。その後、研究室の先輩達からの紹介というご縁もあって、進学教室札幌フォレスト(現「学びのアトリエ」)に。研究と教育の違いに苦労しながらも今に至る。

平成23年 6月28日